

つ 津みらい

ふじた さだひこ  
藤田 定彦

録画映像



**問** 「不健康期間」や「延命期間」の短縮に向けた取り組みを

WHOの統計で、日本の平均寿命は84.5歳で世界第1位、健康寿命は73.4歳で世界第2位となった。しかし、その差11.1歳は、不健康期間や延命期間と呼ばれるなど、日常生活に何らかの支障がある期間となる。令和6年3月に津市第4次健康づくり計画を策定したが、市民への啓発はどのように行うのか。また、高齢者サロンでの運動を通じた介護予防は、どのように充実させていくのか。

**答** 仲間づくりや健康維持を行える高齢者サロンの充実を図る

津市第4次健康づくり計画については、広報津および津市ホームページに概要を掲載し、市民への周知を図っている。健康づくり推進員等のヘルスボランティアによる活動や地域に出向く元気づくり教室などの機会を捉えて啓発を図っていく。サロン活動の充実については、フレイル予防を取り入れるなど、高齢者が運動を通して仲間づくりや健康維持を行える通いの場として気軽に参加できるように周知啓発に努めており、より多くの地域で開催されるよう津市社会福祉協議会や地区社会福祉協議会などと連携し、新たな担い手の創出やサロン団体の立ち上げへの支援を行っていく。

その他の質疑・質問

- 選挙の投票率について
- 給食の安全な提供について
- 給食調理員の配置について
- 突発的な職員の休暇への対応について
- 津市第4次健康づくり計画について
- 強化分野を設定した意図は
- がん検診受診率向上のための方策は

津市第4次健康づくり計画



こうめいとうぎいんだん  
公明党議員団

ほりぐち じゅんや  
堀口 順也

録画映像



**問** 家庭廃食油の回収と雑紙回収の推進でごみの資源化を

揚げ物後の廃食油を原料として製造されるSAF（持続可能な航空燃料）はCO<sub>2</sub>排出量を削減できる。現在、回収する仕組みが確立されておらず多くが廃棄されている家庭廃食油の回収を。また、雑紙を含む資源化できる古紙類が可燃ごみの約16.4%を占め、年間約8,800トンが焼却され、金額にすると約6千万円となる。紙袋を利用して分別回収することによる回収率アップの考えは。

**答** 廃食油の資源化、雑紙のさらなるリサイクルに向け検討する

廃食油は従来の原油から作る燃料と比べ、CO<sub>2</sub>の排出量を大幅に削減でき、SAFにも転用が可能である。ごみの資源化や地域脱炭素の観点から、先進地の取り組みも参考とし、廃食油の資源化の実施に向け検討を進める。雑紙は資源ごみの雑誌の一部として、現在も回収しているが、区別しにくく、燃やせるごみとしても排出されているとの声もあるので、今後も、しっかり分別し、資源ごみとして出していただくように環境だよりやホームページで周知・啓発するとともに、単独で回収している自治体に聞き取りを行うなどし、よりよいリサイクルができるよう検討していく。

その他の質疑・質問

- 公益通報の対応と不当要求行為への対応は
- 平和啓発の取り組みについて
- VR（仮想現実）映像を活用した原爆展を
- こどもまんなか社会について
- こども若者議会の設置を
- 地域学校協働活動による朝の子供教室の考えは
- 放課後子供教室の拡充を

原爆投下の瞬間や復興していく街並みなどを疑似体験できるVRゴーグル（映像は約5分）



出典：PEACE PARK TOUR VR